



広報

ごじょうめ

昭和61年

9月1日

(毎月1日・15日発行)

No. 547



環境改善センターは多目的施設、子供たちに人気のある図書室

(広報紙中にある写真を欲しい方に)
お返しします

町の施設

農村環境改善センター

国道七号線に面して建つ農村環境改善センターは、農業経営と生活の改善・合理化などを組織的に推し進めるための施設として、昭和五十三年に完成しました。

総事業費は、当時で約一億一千八百万円。鉄筋コンクリート二階建て、床面積六〇六平方メートルの内部には、会議室、研修室をはじめ、多目的ホール、調理室、図書室が備わっており、数十人の小グループでの会議、研修には最適。また、談話室は和室の作りで、浴室も設けられており、懇談会や慰安会など多目的に利用できる施設です。

この施設は、公民館の大川分館として、さらには大川地区コミュニティセンターとしての役割も担っています。そのため大川地区の皆さんが利用する機会も多く、地域活動の拠点ともなっています。



発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100(代)

印刷／湖東印刷所 ☎ 0188 (52) 2430

9月1日は「防災の日」

避難場所は26カ所

一度道順の確認を



五城目町地域防災計画に基づいて行われた総合防災訓練（昭和五十七年九月）

もし、私たちの住んでいる町に大火事が発生したら……火災に限らず、いざというときにあてないためにも、ふだんから防災について考えておくことが大切です。

九月一日は「防災の日」。これを機会に家族みんなで「家族防災会議」を開き、避難場所など防災について話し合ってください。

町では、五城目町地域防災計画の中で、町内の二十六施設を避難施設に指定して、災害が発生した場合に備えています。町で指定した避難場所を覚えておくだけでなく、どの道を通っていけばよいか、一度、道順を確認しておくことも大切です。

避難施設は次のとおりです。

（一）は収容人員。

〔五城目地区〕

五城目小学校（千八十人）

☎ 52-2050

五城目第一中学校（千三百六十二人）

☎ 52-2051

町民センター（二百三十一人）

☎ 52-4411

公民館馬川分館（百三十人）

☎ 52-2825

広域体育館（七百四十六人）

☎ 52-4415

〔森山地区〕

陽広寺（二百五十人）

☎ 52-2224

公民館森山分館（三十人）

☎ 53-2220

馬場目小学校（六百五十六人）

☎ 52-3472

広徳寺（二百人）

☎ 52-3472

公民館馬場目分館（二十人）

☎ 52-3472

中村公民館（五十人）

生活改善センター（七十人）

☎ 53-2320

杉沢小中学校（八百七十人）

☎ 53-2014

恋地山荘（百五十人）

☎ 53-2014

〔富津内地区〕

円通寺（二百人）

☎ 52-9682

天昌寺（六十人）

☎ 54-2218

小倉温泉旅館

☎ 52-2440

富津内コミュニティセンタ

ー（二百人）☎ 54-2121

富津内小中学校（八百七十

一人）☎ 54-2320

赤倉山荘（百三十人）

〔内川地区〕

鯉クラブ温泉旅館（百人）

☎ 54-2141

内川小学校（五百三十四人）

☎ 54-2220

浅見内公民館（五十人）

☎ 54-2358

〔大川地区〕

農村環境改善センター（百

人）☎ 75-5067

大川小学校（六百五十人）

☎ 75-2055

県立五城目高等学校（千二

百人）☎ 52-2265

また、五城目町地域防災計画の中で、次の地域を延焼拡大の恐れのある密集地として、火災危険区域に指定しています。

▽畑町、築地町、米沢町百十五世帯

▽紀久栄町、古川町八十一世帯

▽新町二十八世帯

非常時に必要なもの

そろえてありますか

災害に備えて非常持ち出し品をそろえておくください。

主なものは次のとおりです。

▽現金や貴重品など▽懐中

電灯、ローソク、マッチ▽ト

ランジストーラジ○水、

乾パンなど緊急食料品▽下

さい。

着類、手拭、セッケン、チ

リ紙など▽救急医薬品

このほか、各家庭で必要

なものを検討してみてください。

さい。

また、少なくとも三日分

くらいの飲料水、食料、燃

料はいつも備えておくこと

が大切です。

長寿社会構築対策懇談会を設置

座長に畑沢実氏を選任

五城目町長寿社会構築対策大綱を策定し、人生八十年時代にふさわしい長寿社会のあり方について、その構想を町民のコンセンサスを得て立案し、関係機関に建議するため八月二十二日、八名の委員からなる懇談会を設置しました。座長に医師会長畑沢実氏を選任、座長代理に老人クラブ連合会長中村清次郎氏を指名し、長命の時代に即したゆとりと安定した生きがい対策を構築しようとするものです。

町長が諮問した骨子は、長寿社会における高齢者の経済活動、健康対策、社会活動における連帯と、役割分担、教育文化、行政施策と自らのライフスタイルの展望、地域社会の対応、現在の福祉施策の再検討などで、これに対する懇談会の意見が注目されています。

この懇談会の提言を踏まえて、役場関係職員で構成されるプロジェクトチームが、素案をまとめ、全町的な機関で構成する五城目町長寿社会対策協議会に諮って最終決定し、町長、議会に建議しようとするもの。

この協議会は、各種団体長等で構成されることになっており、素案のまとめられる九月下旬ころに開かれる見通しです。

町では急速に高齢化が進む中で、子供、青年、壮年、実年、老年それぞれが、自ら社会参加の使命をもち、また、個人、団体、グループ、サービスマン、医療機関、行政の役割分担が円滑に進められ、

懇談会委員

長寿社会構築対策懇談会の委員は次のとおりです。
(敬称略・順不同)

畑沢実(医師会会長)

中村清次郎(老人クラブ連合会会長)

伊藤浩司(議会文教社会委員)

加藤正松(民生委員総務)

伊藤鉄郎(生涯教育奨励員)

会(会長)

泉谷弘子(生涯教育奨励員)

副会長)

佐藤貞(元婦人会会長)

館岡和子(元若妻会会長)

明るく健康な生きがいのある長寿社会、五城目町がつくり上げられる新しい社会システムを構築が図られるよう広範な提言を期待しています。

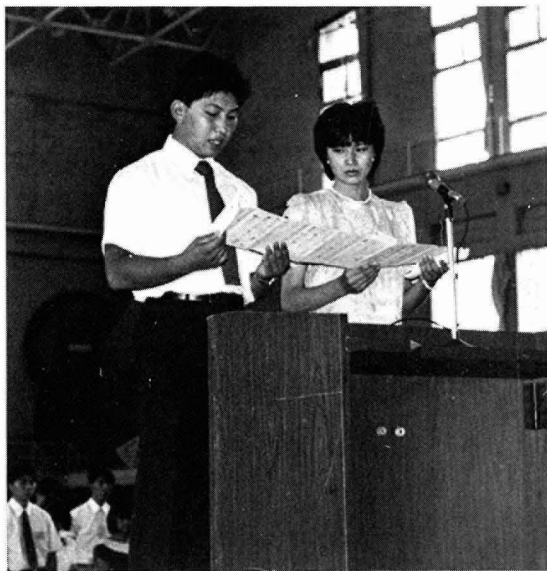
なお、プロジェクトチームには、昭和六十一年度、町が県の指定を受けた痴呆性老人対策促進事業の施策を検討する痴呆性老人処遇検討会の委員を兼ねることになっており、この場合には、秋田福祉事務所、秋田保健所五城目支所等のメンバーも参画することになっています。

成人おめでとう

町から成人証書と記念品

夏の成人式である「新成人を祝う若人たちのつどい」は、八月十五日、広域体育館で開かれ、町では新成人一人ひとりに成人証書と記念品を贈り祝しました。

今年度の町内の新成人は、男子百十二人、女子九十六人



新成人誓いの言葉を読み上げる
松橋さん(左)と小玉さん

安比総合開発の小倉氏講演

9月9日・役場正庁で

安比総合開発株式会社取締役総支配人・小倉義昭氏の講演会が、九月九日(火)午後一時半から役場正庁で開かれます。

小倉氏の略歴

早稲田大学法学部卒。昭和三十八年、株式会社リクルート入社。五十五年、安比総合開発株式会社取締役就任。五十八年、安比レック株式会社取締役就任。五十九年、株式会社あしろ工房取締役就任。六十年、岩手観光ホテル株式会社監査就任など。

茨城県下妻市生まれ、四十八歳。

で昨年度より二十六人少ない二百八人。式典にはそのうち百七十八人が出席しました。式典では、町内八地区の男女の代表に町長から成人証書と記念品が手渡されました。その後、渡辺系一さん(広ヶ野)と嶋崎和代さん(下樋口)が、成人になった感想などについて意見を発表。最後に、松橋正浩さん(浅見内)と小玉佳子さん(長町)が、新成人誓いの言葉を読み上げ、成人としての決意を新たにしました。

当日は式典に先立ち「ふるさとめぐり」と「記念植樹」も行われました。ふるさとめぐりでは、新成人たちが二台のバスに分乗して、町内の施設や名所、旧跡を見て回り、その後の記念植樹は、雀館運動公園の相撲場そばで行われ、新成人たちが見守る中、代表四人によって白樺二本が植え付けられました。

また、式典では、フランスから秋田市に移り住んで十年になるエヴリーヌ佐々木さんが、「フランス人の青春と日本人の青春」と題して講演。エヴリーヌ佐々木さんは、NHK・FM秋田の「ピケンとエヴリーヌのおしゃべりジョッキー」に出演しています。このほか「内川ささら」や「コールもりやま」の合唱が式典に花を添えました。

敬老式

バスで送迎します 定期バスの停留所に停車

町の敬老式は、九月十日(水)午後一時から広域体育館で、町内の七十歳以上のお年寄りをお招きして開かれます。式典では、寿状や記念品、敬老祝金の贈呈などを行って長寿をお祝いします。また、アトラクションでは、大川保育園の園児と五城目町婦人連絡協議会の皆さんが、歌や踊りを披露することになっています。

町では当日、バス十五台と庁用車一台を運行して、参加者の送迎にあたりまします。この送迎バスは、定期バスの全停留所に停車します。

会場行きバスの主な停留所通過予定時刻は次のとおりです。()内は時分。また、帰りのバスは、全車とも午後三時半に広域体育館前から発車します。

▽1号車
広ヶ野伊藤商店前(11・45) 入口バス停(11・55) 農協前(12・00) 長栄堂前(12・05) 北嶋石油店横(12・10) 谷石材店前(11・50) 畠山 精肉店前(11・55) 小浜印刷所前(12・00) 小浜薬局前(12・05) 佐藤美容院前(12・10) 野田神社前(11・45) 高校 秋山タンス店前(12・05) 貝田呉服店前(12・10) 町田神社前(11・45) 高校

▽2号車
▽3号車
▽4号車

福祉医療費受給者証の 更新はお済みですか

乳幼児、母子、父子家庭の児童、体の不自由な方に医療費を援助する福祉医療費受給者証の期限が、七月三十一日で切れました。新しい受給者証でないとお医者さんにかかることができませんので、早目に役場保健衛生課において、更新の手続きを済ませてください。

- ①現在お持ちの受給者証
- ②健康保険証
- ③印かん

福祉医療費受給者証は、次の方たちに交付し、医療費の全額を援助するものです。交付条件に該当していて、受給者証をお持ちでない方は、役場保健衛生課に申し出てください。

- ①二歳未満の乳幼児と二歳の入院児
- ②身体障害者福祉法による身体障害者手帳(四級～六級)を保持している方で、六十五歳から六十九歳までの方
- ③療育手帳(一級～三級)を保持している重度心身障害者
- ④母子家庭、父子家庭の十八歳未満の児童
- ⑤社会保険の本人で身体障害者手帳(一級～六級)を保持している方

おわびと訂正

町では、八月八日の子ども祭典で、打上げ花火にご寄付いただきました方々をご披露申し上げましたが、一部お名前を間違えて放送いたしました。広報紙面に誠に失礼とは存じますが、深くおわび申し上げます。次のように訂正させていただきます。

(訂正)
秋田末広織維(株)
工場長 伊藤敏夫様

バス停(11・35) 上山内バス停(11・40) 下山内バス停(11・50) 帝釈寺バス停(11・40) 舘越バス停(11・45) 高崎バス停(11・50) 下高崎バス停(11・55) 小倉公民館前(11・40)

町で金婚をお祝い

町では、九月十日午前十一時から町民センターで、今年度で結婚五十年を迎えられるご夫婦をお招きして、金婚をお祝します。

対象となるご夫婦は二十七組。当日は、これらのご夫婦に、賞詞状と記念品を贈った後、町長と会食しながら懇談することになっています。

実行しましょう。月にいちど、
「積み立ての日」

しんきんの定期積金

まごころかよう



五城目信用金庫

本店 ☎52 2115代・八郎湯支店 ☎75 2544代・若美支店 ☎0185 46 2315代・飯島支店 ☎45 8024代



どんな風呂釜・ボイラーでも

修理します

☎52-9497

お気軽に
お電話下
さい



信賴の炎を燃やして
熱い燃料



コースは、黒土から山本郡との郡境までで約八キロ。浅



内川地区の子供たちが、八月三日、早朝サイクリングを行い、朝のすがすがしい空気の中で、元気いっぱいペダルを踏みました。(写真)

郡境までサイクリング



見内の急な坂道では、町内の皆さんが「頑張れ、頑張れ」と声援を送っていました。

このサイクリングは、黒土、小倉の地域と湯ノ又、浅見内の地域では、同じ内川地区であつても通学する小学校が違うことなどから、内川児童館が子供たちの融和と健康のために今回初めて開いたもの。

黒土と小倉の子供たちは、午前六時に黒土の目黒木工所前に集合し、途中、湯ノ又、浅見内の子供たちと合流。浅見内町内を過ぎたときは、父兄の参加を含めると、自転車の数は百七十台以上になりました。

午前七時ころには、全員が目的地の郡境に到着。子供たちに児童館から、おにぎりやジュースが配られました。また、子供たちは、ラジオ体操の後、松橋正之助さんから内川の歴史について講話を聴きました。

内川児童館では、子供たちだけでなく父兄からも大変喜ばれたので、来年もこのようなサイクリングを計画したいとしています。

大学生が宿泊して交流

青山学院大学児童文化研究部の皆さん十六人が、七月三十日から四日間の日程で富津内小学校に宿泊し、同校の子供たちとの交流を深めました。これは、同研究部が子供た

ちの視野を広げ、心を広く豊かにすることを目的に、毎年夏期休暇を利用して地方の小学校を巡回しているもの。子供たちは、部員たちの計画した人形劇(写真)、ゲーム、



ハイキング、キャンプファイヤーなどに大喜びでした。また、部員たちは、父兄の皆さんからも歓迎され、風呂を提供した家庭もありました。

同研究部の歴史は古く、関東大震災で焼け出された子供たちに話を聞かせたことが始まりだそうです。交通費や食事代など活動に必要な経費は、大学からの補助以外すべて自分たちのアルバイトで賄い、巡回期間中の宿泊は、学校などの施設を利用しての自炊生活。

同研究部は、四年前にも富津内小学校を訪れており、当時の部員の中には、いまだに子供たちと文通を続けている人もいます。

18台の絵燈ろうが参加

子供たちが作った大きな絵燈ろうが、八月六日の夜、本町部を練り歩き、月遅れの七夕の夜を彩りました。(写真)



小学校通りに集合した絵燈ろうは十八台。午後七時半前に交通指導車の先導で出発し、上町通り、古川町を通過して下町通りの郵便局前まで、一時間ほどかけて町内を一周しました。

これは、七夕恒例の行事ですが、今年の絵燈ろうは昨年より七台も少ない十八台でした。町内の中には中学生のおらない町内会もあり、五町内会はこの町内会と合同製作という形で参加していました。また、中学生もクラブ活動の試合などで忙しく、二、三日で製作したところもあったそうです。

このような中で、田町町内会では、数年前から同町内会の子供たちのために、笹竹用の絵燈ろうを作って、子供たちが七夕祭りに参加しやすいように配慮しています。

森山からご来光を拝む

早朝森山登山が八月三日、町内の小中学生や父兄など約二百人が参加して行われました。

この森山登山は、公民館五城目分館と五城目小学校のPTAが、夏休みの行事として毎年行っているもの。午前三時半に五城目小学校前を出発し、配水池を通るコースで二高地の山頂を目指します。

参加者全員が、日の出前の午前四時半ころまでには山頂に到着し、ご来光を拝みました。(写真) また、全員に登山証明書が贈られました。



テレホンサービス

電話で町からお知らせ

52局の4141番

この秋、新発売

夏の過ぎ去り... 秋の澄みきった光の中... 戀のひとときにお茶の友に

あまの街

五城目町古川町

お菓子のしげ

電話五二二三三八

Liquor & Foods

ワインからおトーフまで

CVS あらかわ

五城目町神明前 T 52-3903

秋田市から仲間を招待

第16回子どもの祭典

第16回子どもの祭典は、8月8日午後3時から五城目小学校グラウンドで開かれ、子供たちはキャンプファイヤーや打ち上げ花火などを楽しみました。

祭典には町内の小学5、6年生と中学生1030人のほかに、秋田市の八橋子ども会の子供たち29人とその父兄8人が招かれました。八橋子ども会の皆さんは、招待のお礼にと自分たちが作ったミニ竿灯30本をプレゼントしてくれました。

今回は五城目小学校の体育館で映画が上映されたほか、お年寄りによるお手玉の作り方の指導もあり、子供たちの人気を集めていました。また、アトラクションでは、八郎潟町の子ども願人踊りが披露されました。



八橋子ども会からミニ竿灯のプレゼント

カメラレポート



矢場崎公営住宅を訪れた視察団

矢場崎 公営住宅に視察団

県木連と県政記者クラブ

秋田県木材産業協同組合連合会（県木連）と県政記者クラブの視察団が、8月2日、矢場崎公営住宅を訪れました。

視察団一行は約20人。木材需要の拡大を図るため、本町はじめ昭和町、合川町、二ツ井町、能代市など2日間の日程で、木材関連施設を見て回ったもの。

午後2時すぎ役場庁舎に到着した一行を、町長らが歓迎。一行は正庁で公営住宅の概要について担当課長から説明を受けた後、さっそく住宅を視察しました。今回も入居者のご厚意で住宅の内部も紹介することができ、町では大変感謝しています。

お知らせ

大川土地改良区の事業

計画書と定款を縦覧

大川土地改良区が新たに行う土地改良事業認可申請が適当と認められ、その計画書と定款の写しを縦覧できます。

▽縦覧できる書類
①下樋口堰地区団体管かんがい排水事業計画書と定款の写し
②大堤地区小規模排水対策特別事業計画書と定款の写し
③西野地区小規模排水対策特別事業計画書と定款の写し
④前谷地区小規模排水対策特別事業計画書と定款の写し

▽縦覧期間 八月二十三日～九月十六日
▽縦覧場所 役場農村整備課

湯崎地区土地改良事業

計画書と条例を縦覧

町が新たに行う土地改良事業認可申請書が適当と認められ、その計画書と条例の写しを縦覧できます。

▽縦覧できる書類

湯崎地区団体管農道整備事業の計画書と条例の写し

▽縦覧期間

八月十六日～九月八日

▽縦覧場所 役場農村整備課



障害者雇用促進月間

ワープロ講習会開催 職業訓練センター

秋田県総合職業訓練センターで、OA講座ワードプロセッサの講習会が開かれます。
▽日時 九月十七日（水）～十九日（金）午前九時～午後四時半
▽講習内容 入力操作・データ処理
▽定員 二十人（一台の機材に二人）
▽受講料 無料（ただしテキスト代二千円）
▽申し込み・問い合わせ 電話で県総合職業訓練センター（☎24-2548）へ（定員になり次第締め切り）

NHK青年の主張 出場者を募集

NHK秋田放送局では、第三十三回NHK青年の主張全国コンクール秋田県大会の出場者を募集しています。

出場の資格は、昭和三十六年一月十六日から四十六年四月一日までに生まれた方となっています。

出場を希望する方は、五分以内で発表を終えるように意見をまとめた原稿（四百字詰め原稿用紙四枚程度）を十月十七日までにNHK秋田放送局へ送ってください。テーマなど詳しいことは、次のところへお問い合わせください。

▽NHK秋田放送局「青年の主張」係 ☎23-5411

参加しませんか

青年の宿
宿泊しながら研修

秋田県青年の家などの主催で「青年の宿」が開かれます。「青年の宿」は、秋田市の青年の家に宿泊して、青年の生き方や職場での役割について学習するもので、青年の家から通勤、通学が可能なことが条件となっています。

▽期日 九月十日(水)～十三日(土)三泊四日
▽会場 秋田県青年の家
▽研修内容
・講演：今、青年社員に期待するもの
・講義・演習：職場のエチケット・マナー、二十代の生活設計

・実技・演習：ワープロの基礎講座
・仲間づくり活動
▽申し込み期限 九月六日(土)
▽申し込み・問い合わせ先 秋田県青年の家 秋田市寺内神屋敷三五―一 ☎45―3185

壮年の親睦交流
本荘市で開催

昨年八月、本町を会場に開かれた秋田県壮年の親睦交流のつどいは、今年は本荘市で開催されます。

▽日時 九月二十日(土)午後一時半～九月二十一日(日)午前十時半
▽会場 本荘市福祉センター(鶴舞会場)

▽対象 壮年の集団(無尽会、旅行会、研究会、同好会)、グループ、サークルなど
▽会費 六千五百円(一泊二食付、懇親会費、写真代)
▽内容
・分科会(地域興しを考える、商工業を語る・今後の秋田を考える)
・講演(秋田の魅力と壮年の役割)
・親睦交流会
▽申し込み方法
参加を希望する方は、九月六日(土)までに公民館(☎52―4415)に氏名、所属団体名、宿泊の有無、出席したい分科会を連絡してください。



みごとに花が咲いた河川敷の花壇

河川敷に花壇完成

磯ノ目フラワーライン

馬場目川河川敷に幅10メートル、長さ80メートルの花壇「磯ノ目フラワーライン」が完成しました。場所は五城目橋上流、一番町の裏側で、堤防にそった帯状の花壇です。

本町の「花いっぱい運動」は、昭和36年の秋田国体を契機に始まり、現在ではほぼ全町にその広がりを見せています。町では、花いっぱい運動の一層の普及を図るため、今年度から河川敷の花壇づくりを手がけました。花壇の管理などいろいろ問題がありましたが、どうにか初期の目的を達成し、800平方メートルの土地にサルビアなど8千本あまりの花が植え付けられました。

お知らせ

複十字シール運動 募金活動に協力を

五城目町結核予防婦人会(会長・伊藤花美さん)では、九月一日から三十日まで、町内の家庭を訪問して、複十字シール運動の募金を行います。募金は、結核予防事業をすすめるための資金を生み出す目的で行われますので、協力をお願いいたします。

複十字シール運動は、財団法人結核予防会が結核や肺がんなど胸部の病気をなくするために、行っているもので、運動期間は、八月一日から十二月三十一日まで。

昨年の募金総額は、全国で約五億九千三百九十四万円で、町内からは二十一万一千円のお金が集まりました。これらのお金は、検診車の製作や施設の整備、調査研究などに活用されているほか、発展途上国の結核対策にも役立っています。

国保杯ゲートボール

各町内から一チーム

町では、国民健康保険杯全町ゲートボール大会の参加チームを募集しています。

このゲートボール大会は、国民健康保険事業の一環として行うもので、町民であれば年齢、性別に関係なくどなたでも参加できます。

▽日時 九月二十五日(木)
開会式 午前九時
競技開始 午前九時半

▽場所 雀館運動公園広場
▽参加制限 各町内会から一チーム八人

▽参加申し込み 九月十三日(土)までに役場保健衛生課(☎52―2100)へ

国体選手の壮行会

該当者は連絡を

町では、第四十一回山梨国民体育大会に出場する町内出身選手を対象に壮行会を行います。

該当者がおりましたら、九月十三日(土)までに公民館(☎52―4415)へ連絡してください。

▽壮行会日時 九月二十九日午後七時

▽壮行会場 町民センター

暴力団による被害

相談室の利用を

秋田県弁護士会と警察では、暴力団による被害などの相談室を開設します。債権取り立て、暴力金融、交通事故示談、脅迫のほか非行、サラ金などの相談にも応じますので、一人で悩まないで気軽に利用してください。

相談者のプライバシーは守られますし、無料です。また、電話での相談にも応じます。

▽日時 九月六日(土)午前十時～午後三時
▽場所 秋田県警察本部「暴力団被害相談室」秋田市山王四丁目一 ☎65―4800

ご存じですか

児童扶養手当と特別児童扶養手当

児童の幸せのため、母子家庭や、身体・精神に障害のある児童のいる家庭に手当を支給しています。母子家庭に支給される手当は「児童扶養手当」、障害児のいる家庭に支給されるのが「特別児童扶養手当」です。手当の請求手続きなど詳しいことは、役場住民課福祉係におたずねください。

児童扶養手当

児童扶養手当は、十八歳未満（中度以上の障害を有する場合は二十歳未満）の子供がいる母子家庭に支給されます。手当の額は、児童一人の場合月額三万三千七百円、二人目の児童がいる場合はこれに月額五千円加算されます。また三人目の児童からは一人につき月額二千円加算されます。

支給対象は、次のいずれかの状態にある児童を扶養している母親、または養育者となっています。しかし、受給者の所得が一定額以上ある場合や、公的年金を受けられる場合などは支給されません。

- ① 父母が離婚した児童
 - ② 父が死亡、または生死不明である児童
 - ③ 父が重度の障害を有する児童
 - ④ 父が一年以上拘禁されている児童
 - ⑤ 父が一年以上遺棄されている児童
 - ⑥ 婚姻によらないで生まれ、父から認知されていない児童
- 現在手当を受給している方で、支給対象に該当しなくなった場合のほか、次のような状況になったときは、受給資格が無くなりますので、すぐに役場住民課へ届け出てください。届け出が遅れると、さかのぼって手当を返還していただくこととなりますので、注意してください。

特別児童扶養手当

特別児童扶養手当は、身体または精神に障害のある児童（二十歳未満）を監護する父母、あるいは父母にかわってその児童を養育している人に支給されます。手当の額は、障害の程度が一級の場合、児童一人につき月額四万八千円。障害の程度が二級の場合、児童一人につき月額二万七千二百円。支給対象は、二十歳未満で身体、あるいは精神に中度以上の障害をもつ児童を監護している父母、または養育者となっています。しかし、受給者の所得が一定額以上ある場合、児童が公的年金を受けられる場合、児童が施設に入所している場合などは支給されません。

献血ありがとうございます

ごさいます



献血車による献血が、七月二十八日、町内四カ所で行われました。この献血に協力してくださいました方のお名前は次のとおりです。（敬称略、印四〇〇ミリリットル献血者、数字は献血回数）

佐藤貴子 17	鈴木善久 5	長谷川義孝 10	一関久蔵 5
荒川 誠 6	長谷川国夫 17	石井久喜 13	渡部ミキ子 6
板垣誠哉 11	畠山金男 2	佐藤 仁 38	嶋崎裕子 2
太田敦子 7	嶋崎一人 5	石井秋重 9	大石信吉 8
伊藤鶴雄 13	煙山誠次 13	工藤幸男 8	近野輝雄 8
猿田 稔 3	鳥井浩己 14	佐藤俊一 11	太田栄悦 38
伊藤一志 36	金野 勇 3	石井千秋 5	栗山美紀 2
宮城正人 9	北嶋美保子 19	高津育子 1	工藤正広 3
栗山孝子 14	小玉則男 15	石井久光 4	桑原富一 3
児玉 昇 30	小林保子 10	川村鈴子 3	金沢昌子 4
。沢田石勇雄 12	。山田広美 15	本間保子 5	伊藤エミ 3
。斎藤政一 5	桜庭鉄幸 2	下山由美子 2	永井慶子 3
伊藤和子 3	畠山隆博 24	永井博敏 4	川村幹雄 5
千田賢悦 10	阿部孝昭 4	宮腰友幸 4	宮城ナツ子 2
石井ハルエ 2	小林 勉 6	栗山恵子 7	佐々木聡 7
谷田部保美 37	渡辺鉄男 53	伊藤京子 2	一関弘毅 4
加藤 厚 3	沢田石栄子 3	福島啓次 2	一関 守 3
。佐々木喜久雄 14	北嶋透志雄 6	伊藤彦麻呂 21	

心にふれる感動・あいさつ運動体験発表

一般の方もどうぞ

町では、九月五日（金）午後一時半から五城目小学校体育館で、「心にふれる感動体験発表会」を「あいさつ運動体験発表会」とあわせて開催します。

この発表会は、「心の教育」県民運動推進事業の一環として開くもので、町内の小中学生や教育関係者のほか、一般の方も参加できます。発表者は全部で十五人。心にふれる感動体験については、町内の小・中学校から一人ずつ九人が発表します。また、あいさつ運動については、五城目小学校と五城目第一中学校の児童、生徒六人が、発表することになっています。

素人工事は事故のもと

一般家庭や商店の屋内配線工事は、国家試験に合格し、電気工事士の資格がないとできないことになっています。簡単なものだから、安上がりだからといって一般の人が工事すると、思わぬ電気火災や感電事故をおこす恐れがあります。



水道工事

どんな修理でも承ります。

五城目町指定水道工事店・指定浄化槽工事店

八柳工務店

代表 八柳 莊 平

五城目町大川大川字西屋敷84-1 ☎ 0188-75-2559

町内の話題

山内城本丸の池を復元

山内の有志八人

山内城跡の池が、このほど小林富蔵さんから山内地区の有志八人によって復元されました。

山内城は、中世に築かれ、三浦采女正秀兼の居城とされています。城跡は、標高一五〇メートルの独立した山で、本丸、二の丸、三の丸から成っており、池は本丸にあったもの。

小林さんらは、池の復元のため昭和五十八年の夏から掘り始めました。池の面積は、約二アール（二畝歩）あり、今では水をたたえています。小林さんらは、来年はこの池にアヤメを植える計画で、こ

れからも整備していきたいと思っています。

手作りイカダ20隻参加

馬場目川川下り

馬場目川川下り大会が、八月十七日、手作りイカダ二十隻が参加して、馬場目川の五城目橋から竜馬橋までの約四キロのコースで行われました。「馬場目川をきれいにしよう」と呼びかけるこの川下り大会は、本町と八郎湯町の商工会青年部共催で開かれ、今年が五回目。イカダは河川美化のキャンペーン標語を掲げることが条件で、スタイルは自由。川舟風のものや、動物の姿をあしらったものなど趣好をこらしたイカダが集まりました。

また、今年は優勝チームに五万円の賞金が贈られるとあって、両町以外のチームも参加しました。イカダは、午後二時から一分おきに二隻ずつ五城目橋下をスタート。一番早いイカダは四十七分で、遅いイカダでも一時間半くらいでゴールしました。

審査は五人の審査員で行われ、キャンペーン標語四十点、イカダのアイデア四十点、タイム二十点で採点。成績は次のとおりです。（敬称略）

優勝した石川商会号



▽優勝 石川商会号（代表・石川金作）山本町、キャンペーン標語「我が郷土清き流れの美しさ」

▽準優勝 二十五年会（代表・千田繁実）八郎湯町、キャンペーン標語「清流はみんなの心、町の顔」

▽三位 見会号（代表・小森幸臣）五城目町、キャンペーン標語「白鳥と子供の遊べる清流を育くみ伝えた豊かな郷土」

▽優秀賞 二十七年会（代表・佐藤政弘）五城目町、一番町親睦会（代表・富樫俊広）五城目町、のんべえ（代表・高橋照夫）五城目町、護美丸（代表・伊藤敏和）五城目町、

▽努力賞 キン肉マンチーム（代表・門間良雄）五城目町、シャロットタウン（代表・千葉明人）秋田市、

ガーデン松竹（代表・柴田隆司）五城目町

▽キャンペーン賞 二十五年会

湊選手五人が

東北で優勝

団体戦は三位入賞

東北中学校剣道大会は、八月五日、山形県寒河江市で開かれ、個人戦で五城目第一中学校の湊コウ子選手が優勝しました。また、団体戦では五城目第一中学校女子チームが三位に入賞しました。

▽団体戦予選リーグ
五一中4-1佐沼中（宮城）
五一中5-0酒田四中（山形）
▽同決勝トーナメント一回戦
五一中3-2伊南中（福島）
▽同準決勝
若柳中（宮城）4-1五一中

▽個人戦一回戦
湊 コーメ佐藤（福島）
▽同二回戦
湊 メコー葛根田（青森）
▽同三回戦
湊 コーメ石恒（山形）
▽同準決勝
湊 メー馬場（福島）



東北優勝の湊選手

▽同決勝

湊 メ（延長）柴崎（宮城）

町内会発足10周年祝う

曙町で祝賀会

曙町町内会（会長・鈴木秀雄さん）では、八月三日、町長と笹川町議会議員を招いて、町内会発足十周年を祝いました。祝賀会の会場は、同町内の路上に張られたテントで、お母さんたちがバーベキューや焼きそばなどを準備。町長はお祝いの言葉の中で「町民センターや体育館を利用しなくても、このような立派な祝賀会ができる。このことは、皆さんの今日のまでの努力を見る思いがする」と述べました。また、最後に「曙町の由来のごとく、今後ますます発展されるよう頑張ってください」と激励しました。

曙町は、昭和四十九年に町の開発公社が造成した宅地分譲地で、昭和五十二年四月一日に新町内会としてスタートしました。発足当時の世帯数は十七戸でしたが、現在では二十六戸に増えています。

町内会名の曙町は、同町内会の初代会長である泉谷一郎さんが名付け親。東の空から昇る太陽をいっぴい浴びてすこやかに町内の和を保とうという願いがこめられています。



伝言板

美術作家協会

五城目展開催

県美術作家協会五城目展が広域体育館を会場に開かれます。

▽期日 九月三日（水）～七日（日）

▽会場 広域体育館第 体育室

▽展示作品
・洋画の部：大きさ五〇号以上。秋田市、能代市、大館市、北秋田郡、地元作家約三十人が出品

・彫刻の部：高さ一メートル前後の作品。秋田市を中心に六人が出品予定。

▽懇親会 九月六日（土）午後五時、町民センター

全町職場野球大会

全町職場野球大会（主催・五城目町野球協会）が開かれます。

▽日時 九月七日・二十三日、二十八日・十月五日

▽場所 五城目第一中学校野球場

▽試合方法 一試合七回戦、決勝戦を除き五回以降七点差の場合コールドゲーム。

大河兼任のなぞ

⑪

吾妻鏡

小野 一 二

鎌倉幕府が編さんした「吾妻鏡」五十二巻は、幕府の事跡を漢文体日記のかたちで記録したものである。わが国初の武家記録であり、もちろん鎌倉幕府の正史である。「東鑑」とも書く。その幕府正史である吾妻鏡巻第十、文治六年（一一一

九〇）正月六日の条に、「奥州故泰衡郎従大河次郎兼任以下、去年窮冬以来、企叛逆、（以下略）……」という記事がある。いわゆる「大河兼任の乱」についてのこの記事は、『大日本史料』にも活字化され収録されているが、全部でわずかに十行にすぎない。文治五年、源頼朝は奥州征伐を行った。三手に分かれて鎌倉を出発した軍勢は藤原軍を圧倒し、七月十九日に鎌倉を出た頼朝は、八月二十二日には平泉に入っている。

平泉の居館に火をかけて逃れた泰衡は、九月三日比内郡賛柵で郎従河田次郎によつて殺され、奥州は頼朝の支配するところとなった。文治六年正月六日条の冒頭は、反乱した大河兼任がほろばされた藤原泰衡の家来であるとしている。平泉政権を倒した頼朝が、

陸奥・出羽両国の各地に御家人を配置して、東北地方の経営をすすめようとしていたときだけに、故泰衡郎従と称する兼任の反乱は、鎌倉にとつて大きなショックだった。

正月六日条は、つづけて兼任は伊予守義経と称したり、木曾義仲の嫡男朝日冠者と名乗ったりして、平泉の遺臣たちを反乱に誘っているという意味のことを書いてある。

三手に分かれた鎌倉勢のひとつ北陸道軍は、越後から日本海側を北進、出羽に向つた。これに平泉方として抵抗した在地勢力に秋田三郎致文、由利中八維平らがある。しかしこのなかに大河兼任の名はみえない。はたして兼任は泰衡の郎従なのかどうかという疑問がのこる。兼任は、平泉藤原氏のとむらい合戦を、頼朝にいどんだのだろうか。

六日 辛酉 奥州故泰衡郎従大河次郎兼任以下、去年窮冬以来企叛逆、
或號伊豫守義経、出於出羽國海邊、比内郡賛柵、郎従河田次郎によつて殺され、奥州は頼朝の支配するところとなった。文治六年正月六日条の冒頭は、反乱した大河兼任がほろばされた藤原泰衡の家来であるとしている。平泉政権を倒した頼朝が、
陸奥・出羽両国の各地に御家人を配置して、東北地方の経営をすすめようとしていたときだけに、故泰衡郎従と称する兼任の反乱は、鎌倉にとつて大きなショックだった。
正月六日条は、つづけて兼任は伊予守義経と称したり、木曾義仲の嫡男朝日冠者と名乗ったりして、平泉の遺臣たちを反乱に誘っているという意味のことを書いてある。
三手に分かれた鎌倉勢のひとつ北陸道軍は、越後から日本海側を北進、出羽に向つた。これに平泉方として抵抗した在地勢力に秋田三郎致文、由利中八維平らがある。しかしこのなかに大河兼任の名はみえない。はたして兼任は泰衡の郎従なのかどうかという疑問がのこる。兼任は、平泉藤原氏のとむらい合戦を、頼朝にいどんだのだろうか。

「吾妻鏡」文治六年正月六日条

お誕生

おめでとう
ございます



(敬称略)

久保市達也	長男	6月23日
清・昭子		岡本二区
松橋あすみ	二女	6月24日
敏道・かほる		田町
椎名吉昭	二男	6月25日
吉一・和子		富田
林里美	長女	6月25日
正和・孝子		広ヶ野
小森友貴	長女	6月26日
正徳・春美		仲町
久保市尚平	二男	6月26日
紀彦・敏子		米沢町
伊藤愛	長女	7月2日
聡・ひろみ		脇乙
猿田達也	長男	7月4日
豊・順子		西磯ノ目
永井夕佳	二女	7月7日
義昭・洋子		畑町
伊藤史也	二男	7月7日

おめでとう

おめでとう
申上げます

(敬称略)

嶋崎舞子	長女	7月10日
浩・百合子		八田
正直・桑子		下樋口
小玉恵理子	長女	7月11日
晴美・早苗		浦横町
伊藤健一	長男	7月15日
栄悦・ヨシ子		野田
小浜一徳	長男	7月21日
徳男・松子		新畑町
伊藤金作	49歳	築地町
佐藤金市	69歳	中村
佐々木ヨシ	59歳	坊井地
伊藤イシ	83歳	富田
大石トミ	81歳	下山内
澤田石フサ	78歳	湯ノ又四区
小野秀夫	51歳	田町
長谷川晃俊	80歳	大川四区



善意

(敬称略)

▽杉沢中学校に寄贈
中学校一年生の教科書一式
(六月の火災で教科書焼失した石川冬姫さんに使っていただきたいと寄贈したもの)
渡辺五松堂
(代表・渡辺隆太郎)



善意

(敬称略)

▽雀館児童館へ寄贈
雑誌四十冊 昭辰町
鈴木たかゆき(小学二年)
雑誌七十五冊 昭辰町
館岡ひとみ(小学六年)
紙おむつ(四十枚) 布おしめ(二十枚) 下山内 匿名
八月十二日
三万円 下山内
大石専之丞
(亡母トミ様の香典返しとして)

町の人口と世帯

8月1日現在

人口	15,407人	(-24)
(男)	7,347人	(-9)
(女)	8,060人	(-15)
世帯	3,937世帯	(+1)

※()内は前月との比較

北嶋嘉一	68歳	7月19日
加藤哲三	78歳	7月19日
金澤チヨエ	77歳	7月23日
阿部与助	65歳	7月24日
柴田タミエ	73歳	7月26日
加藤栄太郎	73歳	7月28日
浦横町		7月30日